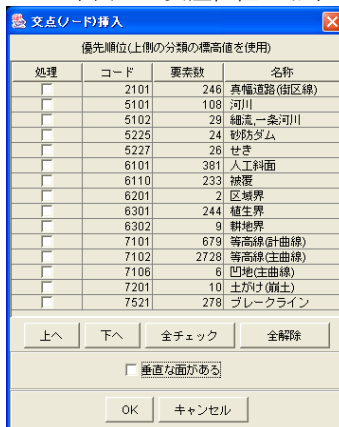


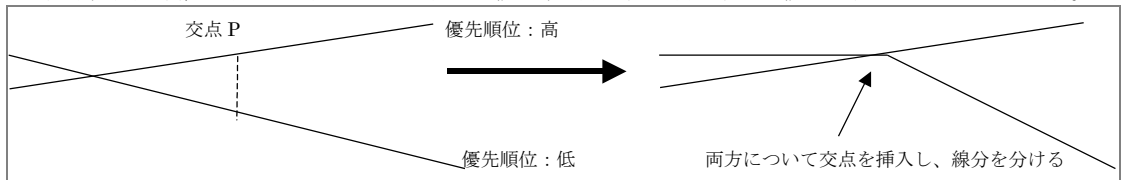
1. 交点(ノード)挿入

メニュー「3次元化」の「交点(ノード)挿入」で3次元の要素であってもZ値が-999.0の要素については、対象外にしました。

3次元要素のXY平面での交差位置に点(ノード)を挿入します。



3次元要素を分類コード別に、選択し、標高値の優先順位を指定します。要素と要素の交差で、優先順位の高い方の標高値を採り、双方に点を挿入します。ただし、同一分類コードの場合、それぞれの要素での標高値をセットします。この点は[3D チェック]で検出しますので、確認しながら修正できます。等高線の場合は、標高値は変わりません。等高線の優先順位が低い場合、優先順位の高い要素はその要素のZ値を、等高線は等高線のZ値を交差点にセットします。



- 【処理】 交点を挿入する要素の分類コードを指定します。
- 【上へ、下へ】 洗濯された項目(複数選択可)を上下に移動させます。
- 【全チェック】 全てのチェックボックスについて、チェックが入った状態にします。
- 【全解除】 全てのチェックボックスについて、チェックが入っていない状態にします。
- 【垂直な面がある】 3次元化(一括:面・線)と同じ指定です。

GeoCoach3D バージョン 8.1.8α (2016/05/11 以降)から、3次元の要素であってもZ値が-999.0の要素については、対象外にしました。

2. ヘルプ

メニュー「TIN」の「TIN 作成」と「TIN の境界」のダイアログにヘルプボタンを追加しました。それぞれのメニュー別のPDFをInternetExplorerで開きます。

